

## 「災害時に本領発揮される日本の宝もの」

参議院議員 比例代表(全国区) 選出

神道政治連盟国会議員懇談会 副幹事長

自民党憲法改正推進本部 副本部長

有村 治子  
ありむら はるこ

日頃より、皆様には、いつも温かいご指導とご厚情を賜り、誠に有難うございます。

今年は、災害の多い一年でありました。西日本広域を襲った水害・台風二十一号、また東海地方を中心に強風での被害をもたらした台風二十四号。九月には北海道地震に見舞われました。世界随一の治安を誇る日本ではありますが、その一方で残念ながら自然災害は少なくない国土の上に私達は生きています。

地震など大災害に直面した時、驚きや悲しみの涙がおのずと頬を伝いますが、日本においては、その涙が略奪や暴動、より弱い立場に置かれる人々への虐待に向かうことはほぼありません。我が国においては当たり前の光景ですが、ひとたび海外に目を向けると、他の先進国ですら、大災害の被災地では、このような二次被害が多発しています。極限に追い詰められた時、人々の行き場のない餓えや怒り、不安や絶望は、時に制御不能な群集心理に火を注ぐ危険があります。

大規模災害が続いている昨今の国状を振り返る時、災害時においても人々が習慣的に行う集団行動、すなわち涙の中でも投げ遣りにならず、静かに天を仰いで、お互いをおもんばかり、列をなして食糧を分かち合い、勤勉に助け合うという公序良俗こそ、日本の底力であり財産だとしみじみ感じます。

皆にとってかけがえのない安全・安心、暮らしの平穏を作り上げるための社会の秩序、学校で教えられずとも皆が体得している世俗の良識——この公序良俗の最たる体現者こそ、神社を中心とする地域社会を構成する皆様だと認識しています。各地に鎮座されますお宮を見守って下さる氏子、総代の皆様は、この点において「神社界の宝もの」のみならず、「日本の大事な宝もの」でいらつしやいます。神道の精神は、すなわち日本の心意気そのものだと言えそうです。

皆様が持つていらつしやる素朴でみずみずしい感性や質実剛健なただずまいに学ばせて頂く日常を重ねつつ、私も国民の良識を代弁できる議会人でありたいと強く願っております(八二一字)。

※文中外

今年七月に行われる参議院選挙に向けて、神道政治連盟は比例代表(全国区)において唯一、有村さんを推薦するという機関決定をしています。